

令和 6 年度 大学活性化経費 事業成果報告書

事業区分 (6) その他、大学の活性化に貢献する取り組み

申請組織 学務部学生課

申請組織長 役職名 学生課長 氏名 川合 邦彦

統括責任者 役職名 学生課長補佐 氏名 武田智登世

課題名 学生サポーター制度の活動補助

	役割	氏名	所属・役職名	役割分担
事業組織	統括責任	武田智登世	学生課長補佐	統括
		伊藤このみ	学生課職員	学生サポーター支援担当
		上村綾子	学生課職員	学生サポーター支援担当

1. 事業開始の背景・経緯や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

学生サポーターは 2016 年度から活動を開始し、当初は「ピアサポートの理論と実践」の受講者又はピアカウンセラーの有資格者によるピアサポートに限定した活動であったが、徐々に活動の場を広げ、現在では、図書館課、キャリア支援課、国際交流センター、各部署単位主体の活動を行っている。学生だからこそ解りあえることがあり、誰かの悩みは、その多くがそれ以外の誰でも持ちうる悩みである。この制度は学生が企画、立案、活動を行う、いわば「学生による学生のための制度」である。学生生活に関する様々な相談、学生サポーター企画のイベントへの参加など、学生サポーターを中心とした「学生による学生のためのサポート活動」である。2020 年からのコロナ禍においてはオンラインでの活動に限定されたが、令和 4 年度後期よりコロナ以前の活動を再開し、今年度は昨年度の経験を活かし、さらに促進する活動を展開していく。

2. 事業方法 (特色・独創性) 等 (300 字程度で記述)

本事業は学生サポーターが立案したものに、学生課の学生支援担当者が助言をする形をとっている。授業の空き時間に学生が集まり数回にわたりミーティングを行い、具体的な活動内容を学生サポーターで決めていく。今年度の特徴としては、ピアカフェでは学内だけでなく SNS を使いミーティングを行った。ピアキャリアサポーターが GOOGLE フォームを使って学生からの意見を集めたり、LINE での発信を行うなど時代にあった学生に受入れやすい活動になってきたと思われる。今後は学生サポーターにより多様な経験の機会が与えられるよう、他大学の学生の取り組みを見学・視察を行い、この制度を活発化し、一般学生に学生サポーターについて理解を深めてもらうようにする。

3. 事業の成果 (600字～800字程度で記述)

ピアカフェは「おしゃべり相談会」「おしゃべりカフェ」「季節のイベント」「スポーツイベント」等を数回行った。各回の参加者はサポーターを含め10～15名程度集まり、多すぎず、少なすぎない、程よい人数で、いずれも和やかな雰囲気の中で学生同士が互いに声を掛け合いながら楽しんでいる様子が伺えた。事業の成果としては、今までの先輩サポーターたちの活動を見習い、自分たちも学年・学部を超えて色々な学生と交流をしたいという思いがあるように思われる。学生サポーターの過半数の学生がプライベートで何らかのボランティア活動に自主的に参加していることから、困っている人をサポートしたいという思いがあるように考えられる。

ライブラリーサポーターとしての活動は、展示企画、グッズ作成、お楽しみ本の作成、フリーペーパーの発行、選定ツアー（三省堂店名古屋本店、丸善名古屋本店）等を行った。人間関係学部の学生7名を含め全11名のサポーターが活動した。

ピアキャリアサポーターは自分が経験した就活を活かして次代の就活生のために力になりたいと思っている学生をサポートした。今年度は、GOOGLE フォームを使って、学生から就活の悩みを集めFAQで回答を行ったり、LINEでの発信を主に行った。

留学生サポーター55名（内外国語学部の学生29名）が前期と後期に分けて活動した。

活動の内容は①大学生活や日常の相談、②日本語の宿題や課題のサポート、③日本文化学習、④異文化理解、⑤国際交流に関する各種のイベントへの参加など行った。③日本文化学習という点では、本学の課外活動団体である箏曲部や茶道部と、留学生との交流をサポートしたり、和食作り体験などのサポートを行った。

4. キーワード (本事業のキーワードを1つ以上8つ以内で記載)

①学生が企画・主導	②学部学年を超える	③サポート	④
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 事業の達成状況及び今後の課題 (事業の達成状況を踏まえて、課題、反省点、及び今後の取組みを具体的に記載すること。)

ピアカフェ（新1年生のサポート）、ライブラリーサポーター、ピアキャリア、留学生サポーター全83名のサポーターの内、1年生18名、2年生28名、3年生23名、4年生14名と、学年のバランスに問題はないと思うが、全83名中の過半数をこえる45名が外国語学部の学生が占めている部分は改善させたい。特にピアカフェとピアキャリアは大半の学生サポーターが外国語学部の学生でライブラリーサポーターは過半数の学生が人間関係学部の学生と、学部の偏りがある。

学生の参加数としては、各サポーターともに安定している。特に留学生サポーターは前期と後期に分かれ、作業を分割するなど工夫をしながら多くの活動を実施を行った。

ピアカフェに関しては、前期はほぼ活動していなかったため、来年度は1年間を通して活動したい。学生ポータルサイトの呼びかけだけではイベント参加者がなかなか集まらない点も課題であり、今後はSNSを上手に活用しての勧誘活動や学生サポーターを広く認知してもらうような活動が必要と思われる。